

長崎県美術館名品展

移動美術館

IN 東彼杵町

入場無料

長崎県美術館は「長崎ゆかりの美術」と「スペイン美術」をコレクションの柱とし、現在約8,000点の作品を収蔵しています。「長崎ゆかりの美術」は、明治期以降の長崎出身作家の作品や長崎をテーマとした作品を対象にしており、絵画と彫刻はもとより写真、デザイン、工芸など多彩なジャンルの作品と資料で構成されます。また当館の特色といえるスペイン美術コレクションは、「須磨コレクション」と呼ばれる個人の旧蔵品を出発点として形成されてきました。現在当館のスペイン美術コレクションは、中世のキリスト教美術からピカソ、ミロ、ダリ、タピエスら近現代までに及び、アジアでも有数の規模を誇ります。



野口彌太郎《農家と山(多良岳)》1952年



山本森之助《街角》1922-23年



杉城貞徳《和洋合奏之図》1903年頃



松尾敏男《雪中花》1980年

長崎県美術館名品展

移動美術館 IN 東彼杵町

会期 | 令和2年12月9日(水)～20日(日)

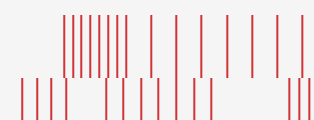
開場時間 | 9:00-16:00

会場 | 東彼杵町歴史民俗資料館(東彼杵町彼杵宿郷437-1)

主催 | 東彼杵町・東彼杵町教育委員会、長崎県美術館

協力・後援 | 東彼杵町文化協会

お問合せ | 東彼杵町歴史民俗資料館 TEL:0957-46-1632



長崎県美術館

長崎県長崎市出島町2番1号 〒850-0862
Tel:095-833-2110 www.nagasaki-museum.jp



Nagasaki Prefectural Art Museum

令和2年12月9日(水) - 20日(日)

◎開場時間 | 9:00-16:00 ◎会場 | 東彼杵町歴史民俗資料館(東彼杵町彼杵宿郷437-1)

ごあいさつ

長崎県美術館は、東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる国立競技場の設計に参画したことで話題になった世界的建築家 隈研吾氏がデザインしたことで有名です。外観もさることながら収蔵品は約8,000点にもおよび、そのおもな作品は、長崎ゆかりの美術とアジアでも有数の規模といわれるスペイン美術です。その長崎県が誇る県美術館の「移動美術館」が6年ぶりにわが町東彼杵町にて開催されることになりました。美術館へ気軽に外向く距離ではない東彼杵町にとって、また今年はコロナ禍で遠出を控えているこの時期、またとない貴重な鑑賞の機会です。町民の皆様とともに、心から歓迎の意を表したいと存じます。

近年のグローバル化、情報化の進展もあって、間接的に美術・芸術品を目にしたたり、生活や社会の中で美術文化に関わったりする環境が広がってきています。時代や社会の変化に伴い、10年ぶりに小・中・高等学校の教育が変わろうとしている時期です。それは、図画工作・美術・芸術教育の「鑑賞」の視点や捉え方にも表れています。自分なりの見方・感じ方を大切にしながら、作品の背景にある作者の感動や夢、思いや願い、イメージや世界観などを感じ取ってほしいものです。子どもたちには、デジタルやネットの生活では味わえない、本物に触れる実感を伴うすばらしい体験になることと思います。

「移動美術館」が、町民の皆様にとってすばらしい芸術作品との出会いとなり、心のやすらぎや新たな感動を生み、感性を呼び覚まして創造性の高揚を図るきっかけとなることを、関係者一同期待しているところです。

最後になりましたが、本展開催にあたりご尽力を賜りました長崎県美術館をはじめ、関係者の皆様に心からお礼申し上げ、ご挨拶いたします。

令和2年12月9日
東彼杵町教育委員会
教育長 粒崎 秀人

関連事業

関連事業はどなたでもご参加いただけます。詳しくは東彼杵町歴史民俗資料館(TEL:0957-46-1632)までお問い合わせください。

関連イベント

ギャラリートーク&子ども鑑賞教室

◎開催日 | 令和2年12月12日(土)

◎時間 | 10:00-10:30

学芸員による大人向けギャラリートークと
美術館スタッフによる子ども向け作品鑑賞会を実施します。



親子向けワークショップ 「オリジナルペーパーケースづくり」

クロコGAという特殊な厚紙に型取りをし、切って折ってつくったペーパーケースにお花紙やマスキングテープを自由に貼りつけデザインします。最後に専用のデコパージュ液を上からコーティングして仕上げます。

◎開催日 | 令和2年12月12日(土)

◎時間 | 10:45-12:00

◎定員 | 先着15人程度 ※事前申し込み制

◎対象 | 子どもから大人まで ※小学生以下は保護者同伴

◎参加費 | 無料

◎会場 | 正面玄関エントランスロビー

※申込・問い合わせは東彼杵町歴史民俗資料館(TEL:0957-46-1632)まで



No.	作家名	作品名	制作年
1	彭城貞徳	和洋合奏之図	1903年頃
2	彭城貞徳	飛騨山脈山麓雪景	
3	山本森之助	凍れる華厳	1919年
4	山本森之助	街角	1922-23年
5	山本森之助	冬のセーヌ	1922-23年
6	渡辺(宮崎)与平	白日	1908年
7	横手貞美	ヴェトゥイユ風景	1929年
8	横手貞美	モンマルトル風景	1930年
9	横手貞美	自画像(髭のある像)	1929年
10	野口彌太郎	丘の眺め	1949年
11	野口彌太郎	農家と山(多良岳)	1952年
12	鴨居玲	宝くじ売り	1970年
13	鴨居玲	狂候えよ	1973年
14	松尾敏男	雪中花	1980年
15	北村西望	母子像	1925年
16	富永直樹	タロ・ジロの像	1987年/2003年鑄造
17	梶島勝一	船	1949年
18	梶島勝一	マンドリル	1952年
19	梶島勝一	メキシコのオオカミ	1952年
20	梶島勝一	クーズー	1952年
21	小崎侃	長崎詩シリーズ 長崎衣裳	1975年
22	小崎侃	長崎詩シリーズ 魚板	1975年
23	小崎侃	長崎詩シリーズ 佐世保わらべうた	1975年
24	小崎侃	長崎詩シリーズ 長崎七不思議	1975年
25	小崎侃	長崎詩シリーズ 青葉がくれ	1975年
26	牧野宗則	有明海シリーズ 慈しみを染めて	1984年
27	牧野宗則	有明海シリーズ 歓びの朝	1985年
28	牧野宗則	有明海シリーズ 月華のままに	1985年
29	東松照明	人形浄瑠璃/皿山大神宮・東彼杵郡・波佐見町	1999年
30	東松照明	隠れキリシタンの墓地/東彼杵郡・波佐見町	2000年
31	東松照明	大野教会/西彼杵半島・外海町	2000年
32	東松照明	窯屋の土間/東彼杵郡・波佐見町	2000年
33	パブロ・ピカソ	女の顔	1962年
34	マルク・シャガール	サーカス	1967年
35	マルク・シャガール	サーカス	1967年
36	マルク・シャガール	サーカス	1967年
37	マルク・シャガール	サーカス	1967年
38	マルク・シャガール	サーカス	1967年

※No.17-20は寄託作品

みなさまへのお願い

気持ちよく作品を鑑賞するためのマナーをお守りください。



※展示室は作品管理の為、室温を低めに設定しています。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、会場内では次のことをお守りください。

●ご利用の当日出発前に発熱やせき、のどの痛みなどの風邪症状や体調不良の方は、ご来館をお控えください。 ●展示室内では、マスクの着用をお願いします(せきエチケットにご留意ください)。 ●こまめな手指消毒にご協力をお願いします。 ●入館時や展示室への入場・鑑賞にあたり、他のお客様と十分な距離を保ってください。 ●展示室内にて体調をくずされた場合はスタッフにお知らせください。